

令和6(2024)年度 自己点検・評価 チェックシート

プログラム名	データサイエンス・AI入門【リテラシーレベル】
評価項目	評価内容
①授業科目ごとに、単位付与方針を定め、公表しているか。	<p>【データサイエンス・AI入門プログラム】 当該プログラムの修了要件は、下記の全学科共通の必修の2科目の単位を両方とも修得していることと定め、ウェブページで公表している。 ・「データサイエンス基礎」は必修科目と定める(1単位)。 ・「人工知能基礎」は必修科目と定める(1単位)。</p> <p>授業科目【データサイエンス基礎】【人工知能基礎】 各科目の単位付与要件は全学共通の方針に則り、「出席数が2/3以上であり、所定の提出課題等の合計得点が60点以上」と定め、ウェブページで公表している。 学生が修得することが求められる知識、技能、態度等として、データサイエンス基礎では「社会に溢れているデータから価値を引き出すための基礎的な知識とスキル」、人工知能基礎では「ヒトが知能を使ってすることを機械ができるようにした仕組みを活用するための基礎的な知識とスキル」と定め、ウェブページで公表している。</p>
②プログラムで、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	<p>【データサイエンス・AI入門プログラム】 教育課程の編成方針は、「入門コースとして、数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、それらを扱う能力を身に付けるのに必要な知識及び技術を体系的に習得する」と定め、ウェブページで公表している。また、実施方針は、下記の全学科共通の必修の2科目と定め、ウェブページで公表している。 ・「データサイエンス基礎」 ・「人工知能基礎」</p> <p>なお、前記の通り定めた本プログラムの教育課程の編成と実施方針は、数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムのモデルカリキュラム(リテラシーレベル)とも整合することを付記する。</p>
③教育課程の編成・実施方針に基づき授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	<p>【データサイエンス・AI入門プログラム】 当該プログラムにおいては、前記の教育課程の編成と実施方針に基づき2科目を配置しており、ふさわしい教育内容の設定となっている。また、このコース自体が、AI活用人材の育成を主眼としたものであり、学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成するための教育の実施である。</p>
④授業内外の学生の学修を活性化し効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	<p>授業科目【データサイエンス基礎】【人工知能基礎】 シラバスの内容(授業の目的、到達目標、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示)を記載して公開している。シラバスの内容を充実させるための措置として、各回の学生の活動内容や予習及び復習の内容を予め詳述している。学生の主体的参加を促す授業形態として同時双方向型のオンライン授業を実施し、授業内容としては学生に関心の高いデータサイエンスや人工知能の内容を取り入れ、そして授業方法としては学生自身が手を動かしながら学ぶアウトプット型の授業方法、毎回の課題等は全員にフィードバックをおこなうとともに課題をクラウドベースの学修を管理するシステムで積み上げる方法、グループワークで学生同士が相互に学び合う方法、そして学生自身で授業の振り返りを実施する方法を工夫して取り入れている。また、履修指導の一環として、学期半ばに得点率が60%に満たない学生に対して個別フォローを実施している。授業は授業内容の説明および授業の管理をする講師1名と、学生のグループおよび個別の指導をするサブ講師複数名でクラスを構成している。サブ講師は25名程度の学生を担任しており、学生に対し手厚いサポートを実現している。</p>
⑤成績評価、単位認定及び単位付与を適切に行っているか。	<p>【データサイエンス・AI入門プログラム】 必修2科目の両方の単位修得を修了要件として設定しウェブページで公開しており、単位制度の趣旨に沿った単位認定がなされている。</p> <p>授業科目【データサイエンス基礎】【人工知能基礎】 100分×14回の授業、および毎回65分程度の事前学修や65分程度の事後学修として構成しており、単位制度の趣旨に沿った単位認定がなされている。成績評価は、毎回の授業内課題や予習復習課題に対して、全クラス共通の評価基準を定め、各クラスでその基準に基づいた毎回の評価を実施し、そしてその積み上げとして客観性と厳格性を担保した評価をしている。</p>
⑥単位付与方針に明示した学生の学修成果を適切に把握及び評価しているか。	<p>授業科目【データサイエンス基礎】【人工知能基礎】 単位付与方針に明示した学生の学修成果は、毎回の授業内課題(最終回は総合的な最終課題)として把握及び評価している。また、全学で実施している受講生を対象とした授業リフレクションを用いて、学生の理解度を測定している。結果、学生の理解度に関して、両科目とも4段階尺度の3段階目が最頻値であった。また、各週の授業時間外の学修時間は、両科目とも「1時間～2時間未満」が最頻値であり、授業時間外の学修に関しても確認している。</p>
⑦教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	<p>授業科目【データサイエンス基礎】【人工知能基礎】 授業に携わった科目責任教員やクラス担当教員が年2回のFD研修会および開講期間中は毎週定期的に集まり、教育の内容や方法、そして成績評価に関する振り返りを実施して、次年度に向けた改善に活かしている。</p> <p>教育プログラムの内容や手法等を学会発表し、他大学の教職員や産業界の方々からの意見を収集し、本教育プログラムの改善に活用している。また、本学では学外有識者を構成員とする外部評価委員会を年1回以上開催し、企業の代表取締役等が本学の教育体制、運営体制、教育の成果について確認を行っている。産業界から見た本学の教育プログラムの将来性など、企業人ならではの視点から本学の教育運営体制に関する広範な課題等の意見・評価をいただいている。こうした外部評価を実施し、顕在化した課題に対応してPDCAサイクルを回していくことで、教育の客観性及び妥当性を担保し、教育水準の更なる向上を図っている。</p>